

Monarch EDGEによる大規模国際スポーツイベントでのリモートプロダクション 株式会社フジテレビジョン 様

株式会社フジテレビジョン（以下、フジテレビ）は、大規模国際スポーツイベントにおいて「Matrox Monarch EDGE」エンコーダーを使用したリモートプロダクションの実証実験（POC）を実施しました。

詳細をフジテレビ 技術局 回線・送信技術部 主任河井 宏允（かわい ひろまさ）様にお伺いしました。



REMI実証実験の目的

このPOCの目的は、「Monarch EDGE」を活用してリアルタイムでビデオをクラウド上のスイッチャーに送信し、リモートプロダクションの可能性を探ることでした。

フランス・パリにて複数のビデオ信号をエンコードし、クラウド上に配置されたスイッチャーに入力・スイッチングされたプログラムを日本・東京で受信するというワークフローが構築されました。



実証実験における「Monarch EDGE」の使用方法

フジテレビはこのイベント中に、デモ借用した「Matrox Monarch EDGE」を活用して複数のビデオ信号をリモートで管理しました。

エンコードされたビデオはクラウド上のスイッチャーに送信され、東京・本社でスムーズに受信されました。

このリモートプロダクションの試みは、「Monarch EDGE」が長距離のビデオ伝送でも高品質を維持し、同期や画質の問題を起こさないことを証明しました。



「Monarch EDGE」活用の利点

主な利点はI/P 変換に優れていることです。近年、IPストリームの映像に対して、インターレース非対応のプロダクトが多く存在するため、エンコード／デコードの際にI/P変換が必要になる状況が多く発生しています。「Monarch EDGE」エンコーダーは、インターレース(I)からプログレッシブ(P)への変換に優れた性能を発揮し、IPベースのワークフローで最適な映像品質を確保するために不可欠な役割を果たしました。



課題と要望／今後の展望

POCは成功しましたが、いくつかの改善点が挙げられました。制御・メディアポートの識別性向上、エンコード状態の識別機能の追加、H.265対応が要望されました。

フジテレビは、今後のマルチカムイベントで「Monarch EDGE」を使用することに強い関心を持っています。特に、タリーやインカム機能が必要となるケースでの活用を検討しており、また、トランスポートストリーム(TS)機能にも関心を寄せています。

フジテレビが大規模国際スポーツイベントで「Matrox Monarch EDGE」を使用した結果、リモートプロダクションにおけるその価値が明確に示されました。

いくつかの改善点はあるものの、「Monarch EDGE」は今後、さらに多様な放送イベントにおいて活躍する可能性を秘めており、フジテレビのリモートおよびIPベースのプロダクションにおける新たな境地を切り開くことを期待しています。



Matrox Monarch EDGEについて



最新の配信環境に最適化された4K/マルチHD配信及びリモートプロダクション向けエンコーダーです。H.264エンコーダーは汎用性が高く、様々な環境に対応することができ、異なる機器間における相互運用の安定性という点で、最良の選択肢であるといえます。4Kの映像配信やマルチカメラ配信、リモートプロダクションなど、多くの用途でご活用いただけます。



ジャパンマテリアル株式会社 グラフィックスソリューション部

E-mail : sales-it01@j-material.jp URL : <https://jmgs.jp/>

東京本部 〒102-0082 東京都千代田区一番町5-3 アトラスビル4F

名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-24-5 第2森ビル8F

*記載されている内容は予告なしに変更される場合があります。*記載された商品名は各社の商標または、登録商標です。